
しゅごキャラ！ガーディアンＶＳダークガーディアン！！

ユーリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しゅごキャラ！ガーディアンVSダークガーディアン！！

【Zコード】

Z9010M

【作者名】

ヨーリ

【あらすじ】

ダークガーディアンによつて誘拐された亞夢を救うため、ダークガーディアンの本拠地に乗り込んだ歌姫達。そこで待ち受けていたのは、敵によつて洗脳された亞夢の姿だつた。果たして歌姫達は亞夢を救う事ができるのか！？3部作小説、ここに完結！！

(前書き)

この小説は『しゅごキャラ！』登場、ダークガーディアン！！の続編小説です。

ややの新たなキャラなりがオリジナルで出る他、単行本8～9巻のネタバレがあります。

キャラクター紹介

ヒナモリ アム

日奈森亜夢：この物語の主人公で、聖夜小学校のガーディアンでジヨーカーをしている女の子。表向きはクール＆スパイシーキャラだが実は意地つ張りキャラ。菜夢達、ダークガーディアンによって誘拐され、洗脳されてしまう。しゅごキャラはラン、ミキ、スウ、ダイヤの4人。

ホシナ
ウタウ

星名歌唄：かつてイースター社に所属していた、14歳のアイドル。亜夢とは親友同士。本名は月詠歌唄で、月詠幾斗の妹。しゅごキャラはイルとエルの2人。

ルル・ド・モルセール：今作のもう1人の主人公で、アニメオリジナルキャラクター。イースター第3の刺客だが、私利私欲ではないらしい。名古屋人とフランス人のハーフで、時々名古屋弁で話すが普段は標準語。しゅごキャラはナナ。

ホトリ
タダセ

辺里唯世：聖夜小学校ガーディアンのキングスチエアをしている少年で、亜夢の憧れ。『王子』という言葉を聞くと王様キャラにキャラチエンジしてしまった。しゅごキャラはキセキ。

フジサキ

藤咲なぎひこ：聖夜小学校ガーディアンのジャックスチエアをしている少年。実はかつてのクイーンズチエア、なでしこと同一人物で、女形舞踊の勉強のために女装をしていたが亜夢には内緒にしている。

しゅごキヤラはてまりとリズムの2人がいる。

真城りま：聖夜小学校ガーディアンのクイーンズチエアをしている

少女。見かけはクールだが、実はお笑い好き。今回の物語でなぎひ

この正体に感づく。しゅごキヤラはクスクス。

結木やや：聖夜小学校ガーディアンのエースチエアをしている少女

で、一番年下。普段は赤ちゃんキヤラだが、頑張っている一面も。

しゅごキヤラはペペ。

鬼怒川菜夢：ガーディアンに敵対するダークガーディアンのリーダー、ダークジョーカーをしている少女。亜夢に髪型が似ている。自

分1人で物事を解決しようとすると傾向がある様子。しゅごキヤラは

ゼアスとミヤ。

獅童時臣：ダークガーディアンのダークキングスチエアをしている少

少年。菜夢の側近的存在で、彼女の事が好き。しゅごキヤラはライ。

獄猿静海：ダークガーディアンのダークジャックスチエアをしている少

少年。熱血漢あふれる男で、土佐弁で話す。髪の色は赤で、地毛

らしい。しゅごキヤラはドロワ。

鳥条音譜：ダークガーディアンのダーククイーンズチエアをしてい

る少女。歌唄に容姿が似ているが、歌唄と違い髪形はシングルテー

ル。歌唄の事を亜夢から聞いており、心理的に歌唄を揺さぶろうと

する。しゅごキヤラはティンク。

兎帳闇夜：ダークガーディアンのダークエースチエアをしている少

女。1人称は『アチシ』で、菜夢の事を菜夢っちと呼ぶ。髪型は顔

の下につくツインテール。しゅごキヤラはヴィス。

ラン&ミキ&スウ&ダイヤ：亜夢のしゅごキヤラ。亜夢とのキャラ

なりはそれぞれ、アミュレットハート・アミュレットスペード・ア

ミュレットクローバー・アミュレットダイヤ。4人一緒に合体する

事で、アミュレットフォーチュンとなる。

イル&エル：歌唄のしゅごキヤラ。よくケンカするが実は仲良し。

歌唄とのキャラなりはイルがルナティックチャームで、エルがセラ

フィックチャーム。2人一緒に合体する事で、新たなキャラなり・

ウエディングチャームとなる。

ナナ：ルルのしゅごキャラ。ルルよりも名古屋弁で話す事が多い。今回初めてルルとキャラなりする。ルルとのキャラなりはドロシアレインボー。詳細は不明だが、もう1人のしゅごキャラと合体することでドロシアプリンセスとなる。

キセキ：唯世のしゅごキャラ。生意気な王子様キャラ。唯世とのキャラなりはプラチナロワイヤル。

てまり＆リズム：なぎひこのしゅごキャラ。なぎひことのキャラなりはまりがヤマトマイヒメで、リズムがビートジャンパー。クスクス：りまのしゅごキャラ。りまと同じくお笑いが好き。りまとのキャラなりはクラウンドロップ。

ペペ：ややのしゅごキャラ。実はややよりしつかり者。ややとのキャラなりはティアベイビー。この小説では新たなキャラなりとしてスピーローブベイビーが登場。

闇キャラ：しゅごキャラが持ち主の悪意ある心が強くなつて生まれた存在。故にしゅごキャラより能力は格上。持ち主とダークキャラなりでできる他、持ち主以外ともできる様子。

ミヤ&ゼアス：菜夢のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。ミヤは持ち主ではない亜夢とキャラなりしている。亜夢とのダークキャラなりはアミュレットダークネスで、菜夢とのキャラなりは他5体のしゅごキャラを取り込んだファンタムウェイザード。ゼアスのキャラなりは不明。

ライ：時臣のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。時臣とのダークキャラなりはキングダムシャドー。

ドロワ：静海のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。静海とは違い、普段は標準語。静海とのダークキャラなりはイフリートダンサー。ヴィス：闇夜のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。闇夜とのキャラなりはブラッティローズ。

ティンク：音譜のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。音譜とのダークキャラなりはジャミングパルサー。

ダークガーディアンの5人組に誘拐された亜夢を助けるために、ルルと歌唄達は最近できた遊園地にやって来た。

3人の刺客に苦戦しながらも何とか城までやって来た歌唄達。

そこで待っていたのは3人をまとめ上げる2人と、ダークガーディアンによって洗脳され敵になつた亜夢だつた。

亜夢の圧倒的な強さに苦戦する歌唄達だが、ルルのしゅじキャラ・ナナが覚醒。

ルルはナナとキャラなりし、ドロシアレインボーとなつた。

ルル・ド・モルセール

「ドロシアレインボー・・・これが、アタシのキャラなり・・・」

獅童時臣

「チイツ・・・まさかルルがキャラなりづきるようになるとはな・・・

・

鬼怒川菜夢

「面倒な事になつたわね。」

田奈森亜夢

「とりあえずアタシ達は屋上に行きましょ。」

亜夢達3人は消えた。

シユパツ！

星名歌唄

「あ、待ちなさいーー！」

獄猿静海

「オマエ達にはまずオレ達と戦つてもらひや。」

鳥条音譜

「アタシ達3人に勝てたら、リーダー達の元に行けるわよ。」

兎帳闇夜

「ま、そういう事〜。」

静海達も消えた。

シユパツ！

歌唄

「みんな、中に入るわよーー！」

歌唄達は城の中に入つて行つた。

辺里唯世

「3つのドアがあるね・・・」

藤咲なぎひこ

「ボクとつまちゅんは赤のドアに入るよ。」

真城りりめ

「行きましょい。」

なぎひことりまは赤の部屋に入った。

唯世

「ボクとつまちゅんは黄のドアだ。行くよやせりやせりこー。」

結木やせ

「はーいー。」

唯世とややも黄の部屋に入った。

歌唄

「じゅあ、アタシ達も・・・」

ルル

「行きましょいか。」

歌唄とルルは、残った緑の部屋に入つて行つた。

静海

なぎひことりまは静海と戦つていた。

「炎獄波！！」

静海は足を叩きつけ、走る火柱を放つ。

「オオオオオオ・・・

なぎひこ

「アイシクルショート！！」

なぎひこは冷氣のボールを蹴り、火柱を凍らせる。

ドン！

ビキビキビキ・・・

りま

「ジャグリングパーティー！！」

すかさずりまがクラブを投げ、凍った火柱を破壊した。

ブンッ！

バキヤア！！

静海

「さすがに2回目ともなるとキャラなりを使いこなすな。では、これじゃきー城郭炎獄！！！」

静海が地面を叩くと、なぎひこりまの周りが火柱に囲まれた。

「オオオオオオ…！」

りま

「熱い・・・…」

静海

「これはただの周囲火柱ではないきに一時折地面から火柱が突き出す地獄の隈じやきー！さあ、これをどう防ぐぜよー！」

りま

「私、熱いの苦手なのよ・・・」

なぎひこ

「つまちやん、『メソ』！」

なぎひこはりまを抱きかかえた。

りま

「な、なぎひこ…？」

なぎひこ

「ほら、いつた事はボクの方が得意分野なんだ。」

なぎひこは軽快に火柱を避けていく。

なぎひこ

「この感覚、思い出した…」

なぎひこは自分の過去を思い出していた。

なぎひこ

「（ボクは確かに完璧な女形にはなれない。それでも構わない！ボクここはボクの踊りがあるーー。）」

その時、なぎひこのポケットからピンクのシャツタマが飛び出す。

スポット！

なぎひこ

「ー？」

ポンッ！

ピンクのシャツタマからてまりが生まれた。

なぎひこ

「てまり・・・」

てまり

「お久しへりねなぎひこー。」

リズム

「選手交代ー。」

てまり

「はいな。」

なぎひこ

「ボクの心、アンロック・・・キャラなつ・・・ヤマトヤメーーー。」

なぎひこはまつとキャラなりし、ヤマトマイヒメになった。

りま

「2人目のキャラなり・・・あなたが前クイーンズチヨアのなでしこなのね？」

なぎひこ

「ええ。では、手早く決つけましょう。」

りま

「はい！」

なぎひこ・りま

「クイーンズワルツ！..」

なぎひことしまは手を交差させ、癒しの光を放つ。

パアアアアア・..

静海

「う・・・うおおおおおー！」

静海はドロフとのキャラなりが解け、倒れた。

ドサッ！

クスクス

「りま～！勝てたね～！！」

りま

「私だけじゃ無理だつた。なぎひこがいてくれたから勝てたのよ。」

なぎひこ

「これで1人倒したわ。」

りま

「他の4人は大丈夫かしら?」

なぎひこ

「少し心配ね・・・」

りま

「さうね・・・って、なぜまだなでしこのままなの?..」

なぎひこ

「何となく。どちらも本当の私だから気にしないで」

りま

「ハア・・・」

りまは苦笑いを浮かべていた。

唯世とややも、闇夜と戦つっていた。

闇夜

「アンタ達もしづといね~。これだけの力の差を見せつけてもまだ

アチシを倒せると思つてるなんて。」

唯世

「物事に絶対なんて有り得ない！どんなに強大な力でも必ずどこかに突破口があるんだ！ロワライヤルソード！！」

唯世の杖が剣に変わる。

唯世

「ハアアアアアツ！！」

唯世は剣を持つて闇夜に突っ込んだ。

闇夜

「ムダだつて言つてんでしょうが！！ボルトローズ・シールド！！」

闇夜は電気をまとったバラの盾を発動し、剣を弾いた。

ズアツ！

バチイ！！

唯世

「！！」

闇夜

「ボルトローズ・ウイップ！！」

闇夜は電気をまとったバラのムチを放つ。

シユツ！

ムチは唯世を絡め取つた。

シユルシユル！

唯世

「うわっ！！」

闇夜

「ショッキング・ボルト！！」

バラのムチからの電撃が唯世を攻撃する。

バリバリバリバリ！！

唯世

「うわあああーー！」

やや

「唯世ーー！」

闇夜

「力の差は歴然よー！アンタ達がアチシに勝つ事はできないのーー！」

闇夜は高笑いしている。

やや

「唯世ーーー（ややが弱いから、唯世が危険な田にーーーどうすれば良いのーーー）」

ややは泣き声になつてゐる。

すると、ペペの心の声が聞こえた。

ペペ『ややたん、諦めないでー!ペペはややたんの強い意思から生まれたんだからねー!』

七八

ペペ・・・ややの心、アンロックー！」

バアアアアア
・・・

七
七

ややは羽衣をまとひた姿になつた。

唯世

「ややちゃんの姿が変わった！？」

閨夜

「姿が変わつても赤ちゃんは弱いままよ！ボルトローズ・ウイップ

! !

闇夜はバラのムチを放つ。

ドシユツ!!

七八

「ガラガラ・ボム！！」

ややはガラガラ型の爆弾を投げ、ムチを爆破する。

ブンッ！

ドゴオ！！

闇夜

「な！？」

やや

「ローブカッター！！」

ややは羽衣を鋭い刃に変え、唯世を縛るムチを叩き斬った。

ザンッ！！

唯世

「あらがとう…まさかややちゃんに助けられるなんてね。」

やや

「ややだつてやる時はやるんだからねーー！スピリットメリーメリー
ーーー！」

ややは傘型のオルゴールを発動した。

ガラガラガラガラ！

闇夜

「う・・・段々眠くなってきた・・・」

唯世

「今だ！…」

闇夜が目をこすっている隙をつき、唯世は闇夜に突っ込んだ。

唯世

「ホーリークラウン！…！」

唯世はホーリークラウンで闇夜を吹っ飛ばす。

ドン！…！

闇夜

「キヤアアアアアア…！」

闇夜はヴィスとのキャラなりが解け、気絶した。

ドサッ！

やや

「勝てたね、唯世！…」

唯世

「うん。歌姫ちゃん達は大丈夫かな…・・・」

唯世は歌姫達の身を案じていた。

歌姫とルルは、音譜と戦っていた。

音譜

音譜は翼をはためかせ、黒い羽根を無数に放つた。

ハハハハハ
！！

「ホワイトシールド！？」

歌唄は翼を交差させ盾にし、攻撃を防ぐ。

ガガガガガガ！！

ルル

ルルもペイント弾を連射する。

— T, T, T, T, T, T

音譜

「ブラックシールド！！」

音譜も翼で攻撃を防いだ。

歌唱

「クツ、隙がない・・・」

音譜

「亜夢に聞いたわよ。あなた、イースターの刺客だったそうね。」

歌唱

「！！」

音譜

「あなた、歌の力でメタマを集めていたんでしょう？ そんな事をやつていたのによく亜夢と親友なんて言えるわね？」

歌唱

「う・・・」

音譜

「あなたのやつている事は咎めはないとはいえた犯罪者も同然！ あなたに本当の親友なんてできないのよ！――」

歌唱

「う・・・」

歌唱は俯いている。

ルル

「そんな事ない！――」

音譜

「

「ん？」

ルル

「アタシは亜夢と知り合って日が浅いけど、亜夢はそんなヒドい事は言わない！あなたの言つてる事は間違つていいわー！」

歌唱

「ルル・・・」

音譜

「生意氣な娘ね・・・でもアタシには勝てないのよー！『ラッシュクワイ

ング！－！』

音譜は羽根を無数に飛ばす。

バババババ！－！

ルル

「ペイントスプラッシュュ－－！」

ルルはペイント弾で攻撃を相殺した。

ビビビビビビー－－！

音譜

「アタシの攻撃を相殺した－－？」

ルル

「ドロシアボール－－シュート－－！」

ルルは虹色のボールを音譜に向けて放つ。

「ドンー！」

音譜

「ブランクシールドーーー！」

音譜は翼を交差させ盾にするが、ボールが盾を弾き飛ばす。

バチャイーーー！

音譜

「ウソーーー？」

ボールはそのまま、音譜を吹つ飛ばした。

「ドンオーーー！」

音譜

「キヤアアアアアアーーー！」

「ドサツー！」

音譜

「そんな・・・アタシがこんな娘に負けた・・・」

音譜はティンクとのキャラなりが解け、気絶する。

ルル

「亞夢は歌姫を本当の親友だと思つてゐる。あんなヤツの言つ事真に

受けないで！

歌唄

「ありがとルル。あなたに勇気づけられるなんてね。」

ルル

「わあ、行きましょう！」

歌唄

「ええ！」

歌唄とルルは、部屋を後にした。

歌唄達は合流し、真ん中の部屋に集まつた。

りま

「みんな擊退したみたいね。」

やや

「あ、紫色の扉が開いてる！」

なぎひー

「ここから上の部屋に行けるみたいだね。」

歌唄

「みんな、気を引き締めて行くわよ……！」

ルル達は強く返事する。

唯世

「じゃあ、行こう。」

唯世達は紫色のドアを開け、奥へと進んだ。

唯世達が上の部屋に着くと、そこには時臣とライが待っていた。

時臣

「来たか、ガーディアン共。まさか3人共倒されるとほな。だが、オレは倒せん！ライ、叩き潰すぞ！」

ライ

「承知の上だ。」

唯世

「来るよ！みんな、キャラなりだ！ボクの心アンロック！キャラなり・プラチナロワイヤル！』

やや

「ややの心アンロック！キャラなり・デイアベイビー！』

りま

「私の心アンロック！キャラなり・クラウンドロップ！』

なぎひ』

「ボクの心アンロック！キャラなり・ビートジャンパー！！」

歌唄

「アタシの心アンロック！キャラなり・ルナティックチャーム！！」

ルル

「アタシの心アンロック！キャラなり・ドロシアレインボー！！」

唯世達は全員キャラなりする。

時臣

「オレの心、アンロック・・・ダークキャラなり・キングダムシャ
ドーーー！」

時臣はライヒダークキャラなりし、黄金の鎧を身にまとった姿とな
つた。

手には紫色の剣を持っている。

時臣

「ククク・・・これは獅童家に伝わる秘宝の剣・レオリックセイバ
ー。だがオレがダークキャラなりの力を引き出して使えば、陰雷の
剣ダークレオセイバーとなる！！！わあ、この一撃を受けてみろ！！！
獅童・雷獄衝波！！」

時臣は剣を地面に突き刺し、紫色の雷撃をまとった衝撃波を撃ち出
した。

バリバリバリバリ！！

歌唄

「ローレライシールド！！」

歌唄は無数の黒蝶を放ち、衝撃波を跳ね返す。

ブアツ！！

バチャイ！！

時臣

「チイツ！」

時臣は剣を構え、衝撃波を吸収した。

ギュイイイ・・・

なぎひこ

「あの剣、エネルギーを吸収できるのか！？」

歌唄

「だつたら物理攻撃で攻めるまでよ！リリンクライテントーー！」

歌唄は赤い三叉矛を発動し、時臣に突っ込んだ。

ドンッ！！

歌唄

「ハアアアアアアツ！！」

時臣

「バカが。ダークネスホールド！！」

時臣は剣から紫色のドーム状バリアを発動し、歌唄の攻撃を防ぐ。

ガキン！！

歌唄

「なつ！？」

時臣

「甘いんだよ小娘！雷獄衝波！！」

時臣は剣を振り下ろし、衝撃波で歌唄を吹っ飛ばした。

ズンッ！！

歌唄

「キヤアアアー！！」

ルル

「レスキュー・ロープ！！！」

ビュン！

バシッ！

ルルは羽衣を伸ばし、歌唄を受け止めた。

歌唄

「あ、ありがと・・・」

ルル

「亞夢は返してもういいわよ……ドロシアインパクト……」

ルルは爆発する衝撃波を放つ。

ドゴオ！！

ゴオオオオオ・・・

時臣

「バカめ、そんな技でこのオレの技が防げるかあ……ダークネスホールド！！！」

時臣もダークネスホールドを放つ。

ズバア！！

だが、ルルのドロシアインパクトは時臣の技を突き破った。

ドン！！

時臣

「バ、バカな！？」

ルルの技はそのまま、時臣を吹き飛ばす。

時臣

ドゴオ！！

「うわあああ……」

時臣は地面に叩きつけられ、片ヒザをついた。

ドサッ！

時臣

「なぜ……オレの技がこんなヤツに破られたんだ……」

時臣は氣絶する。

ルル

「私にばかり目がいっていて氣づかなかつたんでしょうが、私の技には補助技がかかっていたのよ。ややのスピリットエナジーがね。」

やや

「スピリットエナジーは、技にかけて使う事でその技の威力を数倍に高める事ができるのよー！」

りま

「とりあえずこれで4人倒したけど……」

やや

「何も変わつてないね。」

なぎひー

「見てーーこの部屋の四隅の壁が光りだした！」

唯世

「向こうに見えるピンク色の壁がせり上がりってる。4人を倒す事で

スイッチが入ったんだ！」

ルル

「ここの先に亞夢が・・・」

歌唄

「みんな、行くわよーーー！」

歌唄達は、開いた扉の先に進んだ。

りま

「亞夢ー！」

唯世

「菜夢もいるね。」

進んだ先の部屋では、亞夢と菜夢が待っていた。

歌唄

「待ってて、亞夢ーすぐに助けてあげるからねー！みんな、キャラなりよーーー！」

歌唄達はキャラなりする。

亞夢

「ミニア、キャラなりよ。」

ミア

「承知。」

亜夢

「アタシの心アンロック・・・ダークキャラなり・ア//コレットダ
ークネス!!」

亜夢も//ヤヒキャラなりした。

歌唱

「一気に決める!ホワイトウイング!!」

歌唱は白い羽根を無数に放つ。

ブツツ!

亜夢

「ジャミング//コージック。」

亜夢は黒いタクトを振り、音符のバリアで攻撃を防いだ。

ドン!!

亜夢は歌唱に突っ込んで来る。

歌唱

「ルナティックチャーム!リコントライデント!!」

歌唱はすぐにルナティックチャームにキャラなりし、三つ又の矛を取り出した。

亜夢

「甘い・・・ダークネスソウル!ブラッドスラッシュ!!」

亜夢は女侍のような姿になり、剣を振り下ろす。

ブンー！

歌唱
「わっ……」

歌唱は矛を両手で持ち攻撃を防ごうとしたが、亜夢の剣に矛を真つ2つにされた。

ザンー！

歌唱
「そんな！リリンクトラライテントが折られるなんて……！」

唯世

「あの姿、三条君のキャラなりに似ている。」

なぎひー

「一度見たキャラなりは自由に使えるという事が……」

亜夢

「ダークネスジャック！一二ドボール・シユート……」

亜夢はサッカー選手を模した姿になり、トゲのついたサッカーボールを蹴り飛ばす。

ドンー！

なぎひー

「アイシクル・ショートーーー。」

なぎひーは氷のボールで亜夢のボールを凍らせた。

ビキキ・・・

程なく、ボールが砕け散る。

バキン！

なぎひー

「フウ・・・・!？」

亜夢

「ダークネスマイヒメ！ブレイズローブ！ーーー！」

亜夢は舞姫のような姿になると、炎を纏つた羽衣を伸ばしてきた。

「オッ！ー！ー！

ボツ！ー！

なぎひー

「熱つーーー！」

りま

「ーーの気迫・・・・亜夢は本当に私達の事を忘れていたの・・・・？」

ルル

「そんな事ない！みんなで戦えば、必ず持ち出す。」

亞夢

「ダークネスダイヤ。シャイーングチーンー！」

亞夢は黒いアーマコレットダイヤになり、光の鎖で唯世達を拘束する。

ギュルルル・・・

バシッ！

りま・やや・ルル

「キヤツー！」

唯世・なぎひー

「ひーひー！」

歌姫は咄嗟に空中に飛んだため、無事だった。

亞夢

「ハッシュー！」

亞夢は鎖を引っ張り、唯世達を締め上げる。

ギリギリ・・・

唯世

「つああーー！」

歌姫

「…………夢、かうしてひきだす」

雨夢

「シャイニングチャーンーんー！」

亞夢は歌唄にも鎖を伸ばす。

ギュウ才!

歌唄

歌姫は鎖を避けながら、亞夢に突っ込んだ。

ルパンルパンー！

歌
唄

「思夢」

ゴオツ！！

歌唱は亞夢を抱き締める。

ギュッ

甲夢

۱۰

歌
唄

「亞夢、怖い思いをさせてゴメン！アタシ、あなたのためなら頑張

れるから・・・お願い！自分を見失わぬで・・・

歌唱の言葉に、亜夢は涙を流した。

亜夢

「歌・・・唄・・・」

亜夢の動きが止まる。

ルル

「亜夢の動きが止まつた！」

唯世

「今だ、歌唱ちゃん！――」

歌唱

「エンジェルクレイドル！――」

歌唱は美しい歌声で、亜夢からミヤを引き剥がした。

パアアアアアア・・・

ミヤ

「キヤア！――」

亜夢

「う・・・歌唱？」

歌唱

「亜夢！正氣に戻つたのね？」

亞夢

「歌唄・・・ありがと、」

亞夢は歌唄に抱きつぶ。

菜夢

「おのれ・・・よくも・・・」

ミヤ

「いじつなつたら、奥の手よー!」

菜夢

「やれ、ミヤー!」

ミヤ

「ハアアアアアアー!」

ミヤは突然、巨大化した。

ズオオオオオ・・・

そして、ミヤの周りにライ達が現れる。

ポン!

唯世

「時臣達のしゅじゅキャララが!」

ミヤは巨大なタマゴになると、ライ達を次々と飲み込んだ。

ゴクン、ゴクン！

なぞひー

「他のしゅごキャラを飲み込んだ！？」

菜夢

「ミヤは特殊なしゅごキャラでね。他のしゅごキャラを飲み込む事で力を増す事ができるのよ！アタシの心、アンロック・・・」

巨大タマゴと化したミヤが、菜夢を飲み込む。

ゴッケン！

パン!

菜夢

「ダークギャラなり！ファンタムウェイバーーーー！」

菜夢はミヤビキヤラなりし、魔女の様な姿になつた。

菜夢

「これがアタシの最強のダークキヤラなり！仲間の力を得たアタシの魔力は数10倍にも跳ね上がる！さあ、アタシを止められるかしら？」フランヌバノベ

菜夢はドレスから取り出した爆弾を爆発させ、衝撃波を放つ。

ドーオー!!

唯由・ながら

「うわっ！」

「アヤア！」

一
キヤア！

亞夢

みんな!!

夢菜

「…どう? 近づけなければアタシを倒す事はできなーいわよ!!」

「確かにそうだわ・・・どうすれば良いの?」ルル

その時、亞夢のハンパーティ・ロックが7色に光った。

パアアアアア・・・

重夢

「ハンプティ・ドッグが7色に光つてゐる・・・・」

歌
唄

「まさか、また・・・?」

亞夢・歌唄・ルル

「アタシの心・・・アンロック!!」

ルル

「キャラなり！ ドロシアプリンセス！！」

歌唱

「キャラなりー・ウェーディングチャームーー！」

亜夢

「キャラなりー・アミュー レットフォーチュンーー！」

亜夢達はキャラなりした。

しかも、今までのキャラなつとは全く違ひだつた。

亜夢

「これは・・・」

「ワソ『亜夢ひやんー』

亜夢

「ランー！」

ミキ『ボク達4人共いるよーー！』

亜夢

「4人全員ーー？」

スウ『やつですよーーー！』

ダイヤ『ウフフ』

歌唱

「この姿・・・エルとイル両方とのキャラなつなの？」

イル『やつみたいだぜー。』

エル『合体だなんて、嬉しいですわー。』

ナナ『ルル！新しいキャラなりだがわやー。』

ルル

「ええ・・・でも恐らぐ、この姿はナナだけとのキャラなりじゅない・・・（そう、アタシの中にもハーフタマ）がある・・・この感じ、どこか懐かしい・・・」

菜夢

「そ、そんな・・・3人共新しいキャラなりだなんて・・・でも、それだけじゃアタシには勝てないわよーボムフラワーーー。」

菜夢は花の爆弾を複数投げる。

ブン、ブンー

歌唱

「ブーケシールドーー！」

歌唄はブーケをかざし、巨大化させて盾にある。

ドンーー！

ドゴホーー！

菜夢

「クッ・・・・どうして・・・・・どうしてあなた達は、こんな状況下でもアタシに立ち向かつて来れるの?何が・・・何があなた達をそこまで駆り立てるのよ!?」

ルル

「信じてるからよ・・・・・亜夢や、みんなの事を・・・・・

菜夢

「信じ・・・・てる?」

歌唱

「そうよ。あなた、仲間達を信じた事があつたのかしら?」

菜夢

「そういうえば・・・・アタシは仲間達を1度も信じた事がないわ・・・・今回だつて、最終的にアタシ一人でどうにかしようとしてる・・・・ハハ・・・・負けて当然だわ・・・・こんなアタシになんか、友達なんて1人もできないわよね・・・・」

亜夢

「そんな事ない!」

菜夢

「・・・・え?」

亜夢

「今からでもまだ間に合つよ!何ならアタシ達も友達になつてあげるから!」

菜夢

「本当?」

亞夢

「うん!心からの友達にね!」

菜夢

「心からの・・・友達・・・」

菜夢が巨大なメタマに包まれる。

亞夢

「ネガティブハートに、ロックオン!-!-」

亞夢・歌唱・ルル

「トライアングルハート・フルボリューム!-!-!-」

亞夢達3人から放たれた光が、菜夢を浄化した。

パアアアアア・・・

菜夢はその後、時臣達に謝つていた。

菜夢

「みんな、『めんなさい』ってんなアタシだけど、友達になつてくれますか?」

静海

「何を言つてゐるぜよ・・・オレ達と菜夢は、とつづの昔から友達

ぜよー。」

闇夜

「菜夢っちゃん、一人で何でも抱え込みすぎなのよーーー。」

音譜

「あなたとアタシ達は運命共同体。辛くなつた時は、いつでもアタシ達がそばにいる。」

時田

「これからもボク達のコーダーでいてくださいね、菜夢・・・」

菜夢

「うん・・・ありがと、みんな・・・」

菜夢達の光景を、菜夢達は微笑ましく見つめていた。

その後菜夢達はイースターを辞め、外国へと旅立つて行つた。

でも、菜夢達は今も彼女達と連絡を取り合つてゐる・・・

おしまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9010m/>

しゅごキャラ！ガーディアンVSダークガーディアン！！

2010年10月9日14時09分発行